

日本文学史 e・f

火 2 高木元先生 ・ 月 2 大原祐治先生

キーワード： 近世（19世紀）文学史・近代文学史・現代文学史・社会史・メディア

 ←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。**Web** 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- 国文学研究資料館** 【 <http://www.nijl.ac.jp/index.html> 】
→ 日本文学研究の論文・資料を収集する際の基本的なデータベースです。
- 日本近代文学館** 【 <http://www.bungakukan.or.jp/> 】
→ 近代文学関係の資料を収集・保存しています。写真検索では、近代文学者の肖像なども見ることができます。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

★のついている図書は、授業期間中（10月～2月）は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

<講座等>

- 『**日本文学講座**』（全12巻）日本文学協会編 大修館書店 1987-1989
→ 紀記・万葉集から現代文学まで、すべての時代、あらゆるジャンルにおける日本文学の諸問題について、過去の業績を批判的に摂取しつつ、研究成果を結集させています。日本文学協会設立40周年を機に刊行されたシリーズです。
★【本館L棟4階A 910.8/N77】
- 『**岩波講座文学**』（1-13、別巻）小森陽一〔ほか〕編集委員 岩波書店 2002-2004
→ 国別編年体でなく、文学研究の基本的なテーマを網羅し、テーマ別に編成したシリーズです。別巻には各巻収録の論文で扱われた主な作品・作家に関する簡単な索引を付与しています。
★【本館L棟4階A 908/IWA】
- 『**岩波講座日本文学史**』（1-17、別巻）岩波書店 1995-1997
→ 口承文学、アイヌ文学、琉球・沖縄の文学まで、日本文学を総合的にとらえた研究成果を集約しています。
★【本館L棟4階A 910.2/I95】
- 『**日本文学研究論文集成**』若草書房 1998-
→ 作家別・テーマ別でまとめられた論文集です。図書館では作家・テーマで分類して配架しています。
【本館L棟4階A】
- 『**明治大正文学史集成**』（全12冊）日本図書センター 1982
→ 明治23年から昭和2年に刊行された資料の復刻版。同時代の、記憶にまだ新しい文学に対する証言として明治大正文学史を読むことができます。
★【本館L棟4階A 910.26/MEI】
- 『**日本文芸史**』（1-8）古橋信孝編 河出書房新社 1986-2005
→ 『古事記』から現代にいたる日本の文芸作品独自の生きた姿を総体として明らかにすることを目的に編纂されたシリーズです。各巻の冒頭に序説とノートがあり、その巻の概要が記されています。
★【本館L棟4階A 910.2/N77】

<文壇史、文学者の回顧録>

- 『**自然主義文学盛衰史**』（講談社学芸文庫）正宗白鳥 講談社 2002
→ 明治末年の文学における一大潮流をなした「自然主義」について、新聞記者および作家として直接見聞した事柄を書き残した貴重なドキュメントです。
【発注中】
- 『**昭和文学盛衰史**』高見順著 福武書房 1983
→ 大正文学の終焉から太平洋戦争終結に至る時代を生きた文学者たちを描いた文壇回顧録。昭和文学史の基本図書です。
★【本館L棟4階A 910.26/TA43】
- 『**感触的昭和文壇史**』野口富士男著 文藝春秋 1986
→ 芥川龍之介の死から昭和30年代以降（記述は昭和61年まで）、自らの交流も含めながら昭和の文壇史をまとめています。
★【本館L棟4階A 910.26/N93】

- 『[明治文学回想集（上・下）](#)』（岩波文庫）十川信介編 岩波書店 1998-1999
→ 『早稲田文学』の「明治文学号」に収録された約120篇の中から35篇を抜粋した明治文学回想集です。
★【本館L棟4階小型 910.26/MEI】
- <研究書、文芸批評>
- 『[小説史稿](#)』関根正直著 金港堂本店 1890
→ 竹取物語以降の小説に関する史的記述した文学史の濫觴。巻末の「作者略伝」も有用です。[NIJL](#)でも画像が公開されています。
【発注中（リンクは近代デジタルライブラリー）】
- 『[近代小説史](#)』（東圃遺稿 巻四）藤岡作太郎著 大倉書店 1917
→ 藤岡作太郎の東京帝国大学での講義をまとめた遺稿で、本格的な近世小説史の研究はここから始まったと云っても過言ではありません。
【発注中（リンクは近代デジタルライブラリー）】
- 『[明治文学史](#)』（岩波テキストボックス）亀井秀雄著 岩波書店 2000
→ 文学文体の形成と表現の変遷に焦点を当て、多様な明治の言説を広い視野に収めた、画期的な文学史。多様なテキストの交差する相を自在に解きほぐし、近代初期の小説の魅力を説き明かします。
★【本館L棟4階A 910.261/MEI】
- 『[日本の近代文学：明治・大正期](#)』（NHK 市民大学叢書）越智治雄[ほか]著 日本放送出版協会 1976
→ 「大学講座・文学」の一環としてNHKで放映された「日本の近代文学」を基に編纂された資料です。
★【本館L棟4階B 910.26/NIH】
- 『[座談会明治・大正文学史\(1-6\)](#)』（岩波現代文庫）柳田泉, 勝本清一郎, 猪野謙二編 岩波書店 2000
→ テーマごとにゲストを迎え、座談会形式で諸問題を論じた文学史。最終巻に全巻を通じた人名・事項・作品の索引を収録。
★【本館L棟4階小型 910.26/ZAD】
- 『[近代日本文学案内](#)』（岩波文庫）十川信介編 岩波書店 2008
→ 立身出世の欲望、現実社会からの脱出願望、人と人とを結ぶ交通・通信が、文学作品の中でどのように描かれているかを切り口に、近代日本文学を紹介しています。
★【本館L棟4階小型 910.26/TOG】
- 『[日本文学史序説](#)』加藤周一著 筑摩書房 1975-1980
→ 西洋の影響を受けながら伝統を独自に築いた日本文学史を独自の視点で論証しています。
★【本館L棟4階A 910.2/KA86】
- 『[柳田泉の文学遺産（1-3）](#)』柳田泉著；川村伸秀編集 右文書院 2009
→ 明治文学の本格的研究の始祖・柳田泉の著作集。近代日本文学研究者必読の書であると同時に、明治文学を読む人のための恰好のガイドブックです。
【発注中】

参考図書（辞書・事典等） 初めてのテーマは、百科事典や主題別的事典などでおおよその内容をつかみましょう。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

- 『[時代別日本文学史事典（全6冊）](#)』有精堂編集部編 有精堂出版 1987-1997
→ 事典とはいうものの実は論文集ですが、巻末に索引があり、それを用いて事典としても使うことができます。
★【本館L棟4階A 910.2/J48】
- 『[講談作品事典（上・中・下・続）](#)』吉澤英明編著 講談作品事典刊行会 2008
→ 幕末から明治初期に流行した〈講談〉について、芝居や戯作などを踏まえて「新聞」などの一次資料に就いた初の解題研究です。
【発注中】
- 『[文芸年鑑](#)』（大正12年～）新潮社
→ その年の文学の概観を掲載すると共に、新聞雑誌掲載作品目録、文学賞受賞記録等を資料として付しています。
★【本館K棟2階白書・年鑑・統計 910.58/B89】
- 『[大正文学年表・年鑑](#)』（編年体大正文学全集；別巻）宗像和重, 山本芳明編 ゆまに書房 2003
→ 大正期の小説・評論・詩歌のうち主要なものを網羅した編年体全集の別巻。毎年末に新聞・雑誌等に掲載されていた回顧記事を集めた資料集となっています。
【発注中】

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口(<http://www.ll.chiba-u.jp/pathfinder/>)

本や論文を探す方法(<http://www.ll.chiba-u.jp/pathfinder/pfsearch.html>)

作成：千葉大学附属図書館 2011.10.1